

令和5年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	T A C井出山スポーツパーク					
所在地	生駒市小平尾町１７６６番地・９５６番地１、東山町２０１番地２１					
指定管理者名	株式会社 東京アスレティッククラブ	指定期間	開始日	平成 27 年 4 月 1 日		
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 7 年 3 月 31 日		
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 10 年のうち 9 年目			
設置目的	市民の体育及びレクリエーション、社会体育の振興など					
主な実施事業等	・TAC井出山スポーツパーク（屋内温水プールきらめき・体育館・グラウンド・テニスコート）の維持管理・運営 ・屋内温水プールTACきらめきを活用した会員制スポーツクラブの会員や、公共施設としての都度利用者への各種サービスの提供					

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
きらめき（会員利用人数）	人	106,918	91,095	102.1%	会員から一般利用への利用方法の変更が多数あり
きらめき（一般利用人数）	人	21,750	20,888	85.3%	会員から一般利用への利用方法の変更が多数あり
体育館（会議室含む）	人	16,135	14,237	73.8%	1月～2月改修工事のため、閉館あり
グラウンド	人	13,518	12,457	103.4%	
テニスコート	人	31,408	42,816	96.5%	

3 事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	111,488,000	108,664,377	129,356,992
指定管理料		0	0	0
利用料金収入	C	103,956,000	100,115,087	98,303,472
自主事業収入		7,472,000	8,526,408	9,244,901
その他		60,000	22,882	21,808,619
支出計	B	125,443,830	127,649,683	129,500,119
指定事業費		97,416,830	96,186,558	99,421,737
うち人件費	D	60,609,000	57,817,000	60,609,000
うち再委託料	E	36,807,830	38,369,558	38,812,737
自主事業費		28,027,000	31,463,125	30,078,382
事業収支	A-B	-13,955,830	-18,985,306	-143,127
利用料金比率	C/A	93.2%	92.1%	76.0%
人件費比率	D/B	48.3%	45.3%	46.8%
再委託費比率	E/B	29.3%	30.1%	30.0%
補足説明（必要に応じて記入）				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無		有	実施方法	(利用者アンケート) 意見箱の設置 ・ その他 ()
実施結果	意見内容等		対応実績等	
	①プールの時計を早く直して欲しい。 ②プールの水が濁っているので解消して欲しい。 ③ジムのバスがあるので通えます。できれば月水金以外の曜日や昼からの時間の延長もしてほしい。 ④真夏は大変暑いのでロッカーの温度を下げてください。室温の設定温度を高くして欲しい。		①市に購入していただき設置。 ②水質チェックを毎日毎時行い適正に管理。水質が悪くなってきたら薬剤を投入。 ③月水金以外の運行は予算の関係もあるため検討が必要。昼からの時間延長はスクールバスとして運行しているため、実施は難しい。 ④ジム利用者とプール利用者の体感が異なるため、全ての方に適して室温設定は難しいが、季節・時期に合った室温になるようこまめに空調設定変更を実施。	

5 管理運営状況評価

施設の設定目的の達成（有効性）	
	施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等） 指定管理者による自己評価 コロナが4類になったことにより、様々な制限がなくなり、事業提案書および年度事業計画書に基づき適正に運営できた。 市の評価 指定管理者として全国で数多くの施設の管理運営をされており、そのノウハウを活かしマニュアル化された適正な管理運営業務に努められた。また、応募時の事業計画書に則り、他の市内体育施設指定管理者とも調和を取りながら適切な管理運営がなされた。
	市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等） 指定管理者による自己評価 計画に基づき、様々なイベントを実施し市民の利用機会を拡大できた。会員以外の方も参加できる教室を体育館にて実施。 市の評価 会員の方への周知など、市民への平等な利用を確保していただけている。また、関係団体と協力・連携し、利用者拡大していただき感謝している。
	利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等） 指定管理者による自己評価 利用者の意見を取り入れたLESSONプログラムの提供できた。様々なイベントを実施し、たくさんの方に喜んでいただけた。意見に対しても適切に対応し、大きなトラブルには至らなかった。 市の評価 ジムのプログラムなど利用者の意見を取り入れ、実践しているため、利用者から高い評価を得ていると感じている。施設内で発生したケガなどにも迅速で適正な対応をしていただいている。また、体育館などの体育施設部分については、問い合わせの対応が迅速に行われていた。
	経費の縮減等の効果（効率性） 経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等） 指定管理者による自己評価 デマンド管理による電気代の削減や節水装置（JET）による水道使用料の削減等に引き続き取り組み、水光熱費削減のため日々の使用箇所、使用頻度を調整し削減に努めた。 市の評価 独立採算制での管理運営であるため、電気代上昇や様々な物価上昇に伴い、経費削減に向けた取り組みがなされている。また利用者に不快な思いをさせない程度での節電等も試行錯誤されながら実施されていた。
	収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等） 指定管理者による自己評価 定期的な折込チラシ、体験キャンペーン、短期水泳教室等により会員を獲得。一般利用者についても広報、イベントチラシ等により利用者の増加を図ったが、コロナ禍以降会員数は減少したままであり、収入の回復には至らなかった。 市の評価 コロナ禍以降生活スタイルの変化等により会員数が減少する中、折込チラシや短期教室などで会員獲得のため尽力いただいた。
	適正な施設の管理運営（適正性） 施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等） 指定管理者による自己評価 時期に応じた適正な人員配置ができた。年間で研修も計画的に実施し、職員の能力向上に努めた。広報掲載・折込チラシを実施し、広く施設の周知に努めた。小中学校ともしっかり連携した事業運営を実施できた。 市の評価 接遇研修、設備研修、救急法訓練（AEDを含む）、避難訓練などを適切に実施し、職員の能力向上に取り組んでいる。市事業である「小学生水泳競技大会」や「障がい者（児）施設開放事業」運営に協力いただき感謝している。

	自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）
	指定管理者による自己評価 利用者サービスの一環で各種イベントを実施。運動を始めるきっかけ作りや目的・目標設定のきっかけ作り、利用者同士、利用者と従業員のコミュニケーションを図るなど様々な目的に合わせイベントを実施した。オリンピック招致イベントとして実施した水泳イベントについても、大変好評であった。
	市の評価 TAC井出山スポーツパークの中心的な施設である「屋内温水プールきらめき」でのスクール等を開催していただいた。例年と同様、多岐にわたるイベントを企画していただき、多くの世代へ向けた運動機会の創出を考えていただいている。
	安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）
	指定管理者による自己評価 本社発信の個人情報研修資料により個人情報研修は定期的を実施。その他、危機管理マニュアルに則り、従業員研修を実施し、適切に対応できた。また、トレーニングジムやプールの事故発生に備え、従業員の救急法や救助等の監視研修や消防訓練の研修も実施できた。
	市の評価 プライバシーマークを取得されており、自主的に高いレベルの個人情報保護マネジメントシステムが確立されている。またスポーツ活動は事故のおこる可能性が高く、プールにおいては特に命に係わる危険性も高いため、各種マニュアルに基づき、定期的に職員の研修も実施していただいている。
	サービスの安定的な提供（安定性）
	事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）
	指定管理者による自己評価 指定管理料を伴わない独立採算制であるが、コロナ禍以降の会員数や利用者数の減少による収入減となっており、生駒市より施設の維持管理経費をいただき事業を継続することができた。まだまだコロナ禍前には戻っていない現状である。
	市の評価 独立採算制での指定管理となるため、様々な工夫や取り組みをされており、利用者を第一に考えた施設管理を心掛けていただいた。また、新型コロナウイルスへの対応についても、市との連携を図り、柔軟な対応をとっていただき、非常に感謝している。

6 指定管理者の財務の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産	4,549,012,894	4,658,553,136	4,839,988,149
流動資産	1,762,386,188	1,845,650,364	1,978,727,894
固定資産	2,786,626,706	2,812,902,772	2,861,260,255
負債	4,524,434,966	4,633,416,059	4,804,091,289
流動負債	732,377,966	879,980,059	1,101,071,359
固定負債	3,792,057,000	3,753,436,000	3,703,019,930
純資産	24,577,928	25,137,077	35,896,860
資本金	50,000,000	50,000,000	50,000,000
売上高	4,424,217,500	4,784,667,518	4,847,448,298
経常利益	40,268,397	50,283,750	41,496,796

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自己資本比率 純資産/資産×100	0.5%	0.5%	0.7%
負債比率 (流動負債＋固定負債)/純資産×100	18408.5%	18432.6%	13383.0%
固定比率 固定資産/純資産×100	11337.9%	11190.3%	7970.8%
流動比率 流動資産/流動負債×100	240.6%	209.7%	179.7%
固定長期適合率 固定資産/(純資産＋固定負債)×100	73.0%	74.4%	76.5%
総資産回転率 売上高/資産×100	97.3%	102.7%	100.2%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	0.9%	1.1%	0.9%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価

9年目についても大きな事故・トラブル無く終えることができた。コロナ禍以降、収入・会員数の減少から回復へ至らず、今年度も厳しい1年であった。今後もさらに広報活動を充実させ、会員獲得に望んでいきます。また、利用者に満足いただける接客対応のサービスや様々なイベントを実施し、運動を始めるきっかけづくりの提供に努めていきます。今後も生駒市のスポーツ振興の一助となるような取り組みを図り、より良い施設作りに努めてまいります。

市の評価

自主事業のほか、市内総合型地域スポーツクラブや他の市内体育施設指定管理者との連携を図っていただき、本市スポーツの発展に寄与いただいていると感じている。新型コロナウイルスが5類に移行されてからもまだ影響を受けているが、様々な工夫を凝らし会員数、利用者数の回復に努めていただいている。修繕等も迅速に対応かつ報告をいただいております、利用者への迷惑を最小限に抑えられていると感じる。市スポーツの更なる発展に寄与いただいております感謝している。